令和８年度（2026 年度）
北海道福祉のまちづくり賞
受賞事例集

ともに支え合う地域共生社会を目指して

北海道福祉のまちづくり表彰は、平成 10 年「北海道福祉のまちづくり条例」の施行の年にスタートし、今年度で 28 回目を迎えました。福祉的配慮に優れた事例を広く道民や関係事業者に紹介し、普及啓発を図ることを目的に実施しています。

公共的施設等の整備、障がいのある方や高齢者等の自立・社会参加の支援活動、障がいのある方や高齢者等の自立支援や介助者の負担軽減を図るための用具の製作を奨励するべく、３部門構成で募集を行い、「福祉のまちづくり」を推進しています。



令和８年度（2026 年度）の受賞について

公共的施設部門３件、活動部門 10 件、福祉用具部門１件、計 14 件の御応募をいただいた中から、学識経験者、福祉・建築・市民活動等の有識者で構成する懇談会の意見聴取を経て、公共的施設部門２件、活動部門３件、福祉用具部門１件、計６件を北海道福祉のまちづくり賞に選定しました。

北海道

令和８年度(2026 年度) 北海道福祉のまちづくり表彰の概要

１　趣　　旨

誰もが安心して暮らすことができるような「福祉のまちづくり」を進めるため、福祉的配慮に優れた公共的施設等の所有者・設計者、障がいのある方等を支援するための活動を行っている団体及び障がいのある方等の自立支援や介助者の負担軽減を図る福祉用具・製品等の製作者を表彰します。

２　主　　催

北海道

３　後　　援

札幌市、北海道福祉のまちづくり推進連絡協議会

４　対　　象

○　公共的施設部門（福祉的配慮に優れた公共的施設等）

北海道福祉のまちづくり条例に規定する公共的施設等（※）で、道内に所在し、令和５年(2023 年)７月１日から令和８年(2026 年)６月 30 日までに完成したもの。

※　多数の人が利用する病院やスーパーマーケット、サービス付き高齢者向け住宅等の建築物、公共交通機関（駅舎等の施設及び車両）、公園など

○　活動部門（障がいのある方・高齢者等の自立・社会参加支援活動）

北海道福祉のまちづくり条例の趣旨に基づき、障がいのある方・高齢者等の自立と社会参加を支援するために、道内で取り組まれている活動。

○　福祉用具部門（福祉用具、製品等）

道内において研究開発又は製作された、障がいのある方や高齢者等の自立支援や介助者の負担軽減を図るための用具(福祉用具、製品等)。

５　応募方法

所定の用紙による応募。他薦も可。

６　募集期間

令和８年（2026 年）４月 27 日（月） ～ 令和８年（2026 年）６月 30 日（火）

７　北海道福祉のまちづくり懇談会構成員（五十音順）

佐　藤　克　之	北翔大学　名誉教授
三　瓶　　徹	社会福祉法人 北海長正会　理事長
白　石　　淳	北海道医療大学 看護福祉学部　特任教授
三　井　愛　子	合同会社　大福　代表社員
山　本　明　恵	一般社団法人あんしん住まいサッポロ　理事

８　懇談会経過等

第１回懇談会	7月 22 日（水）
公共的施設部門現地確認	８月 12 日（水）、17 日（月）
第２回懇談会	９月 10 日（木）
表彰式	10 月 23 日（金）

９　お問い合わせ先

北海道保健福祉部福祉局地域福祉課企画調整係
〒060-8588　札幌市中央区北３条西６丁目
ＴＥＬ 011-231-4111（内線 25-617） / ＦＡＸ 011-232-4070

令和８年度　北海道福祉のまちづくり賞
（公共的施設部門）

砂川市まちなか交流施設すないる



【ふらっと立ち寄れるまちの居場所へ】

「砂川市まちなか交流施設すないる」は、北海道産木材の温もりと、吹き抜けの開放感を生かした、誰もが集えるまちの居場所となる施設。
観光案内所やカフェ、キッズスペース、授乳室、多目的トイレ、屋内外のイベント空間を備えており、さらに積雪の地域性を踏まえ屋内にも屋外用の床材を採用するなど、安全にも配慮されている点や、年齢や障がいの有無、地域住民・来訪者を問わず、安心して過ごせる工夫と交流や賑わいの中に必要な配慮を溶け込ませた点などが高く評価された。



広さを十分確保した通路



屋内フリースペース



調乳室・授乳室

受賞者の声

「賑わいと魅力を生むまちの居場所」を基本コンセプトに、市民にとっては居心地の良い空間づくり、市外から訪れる方にとっては当市の魅力を伝え親しみのある施設となることを目指して、事業を進めてまいりました。今後も、様々な来館者が快適に過ごせるよう努めてまいります。

所有者：砂川市
設計者：（株）ドーコン
所在地：砂川市西１条北２丁目１番20号

令和８年度　北海道福祉のまちづくり賞
（公共的施設部門）

道の駅しらぬか　恋問館（こいといかん）



【思い思いに楽しめる趣向と、細やかな配慮がうれしい魅力ある道の駅】

国道から入る広大な駐車場は、多種多様な車両が機能的かつ安全に駐車できるよう整理されており、館内は明るく地元産の木材を使用した落ち着いたデザインで居心地が良く、各コーナーはほどよく配置されゆったりと移動できる施設。

多目的トイレなどサニタリー部分は集約された位置にあり、利用者に優しい細やかな福祉的配慮がされている点や、疲れを癒す海の見えるサウナは道の駅では珍しく、魅力的であり、館内外での多様な楽しみを盛り込んだ新しい形の道の駅として高く評価された。



無料休憩・飲食コーナー



キッズスペース



多目的トイレ

受賞者の声

道の駅しらぬか恋問館の改築にあたり、多機能トイレやキッズトイレ、赤ちゃん休憩室、屋根付きおもいやり駐車場など、誰もが安心して快適に立ち寄れる施設を目指しました。このような賞をいただき大変光栄です。

所有者：白糠町
設計者：株式会社アトリエブンク
　　株式会社創造設計舎
所在地：白糠郡白糠町恋問３丁目２－１の内

令和８年度　北海道福祉のまちづくり賞
（活動部門）

釧路市職親会



【独りぼっちの働く障がい者をなくすための活動】

釧路市を中心に、地域全体の課題となっている人材不足を解消するために、障がいのある方や地域の就労支援事業所と人手不足の企業・事業所とのビジネスマッチングなどの活動を行い、企業と福祉の結びつきのきっかけとなった活動。

その他にも、支援学校等を卒業して一般企業に就職した方を対象とした「初めて就職する子の合同入社式」を開催しており、令和８年度で３８回目となる継続的な活動が高く評価された。



初めて就職する子の合同入社式



ビジネスマッチング


マッチングブース

受賞者の声

この度は、このような素晴らしい賞を誠にありがとうございます。

釧路市職親会の活動が、障がいのある方々の「働く」ための一助になればと願っています。たくさんの皆さんと共に支え合いこれからも活動していきます。

所在地：釧路市音羽215番地12　音羽協働センター内

令和８年度　北海道福祉のまちづくり賞
（活動部門）

北海道紋別高等養護学校
北海道紋別養護学校



【地域に貢献できる教育活動を通じた『明日の社会に貢献する活動』】

学校教育目標として「明日の社会に貢献」を掲げており、地域に貢献できる教育活動の一環で、児童生徒が潤いのあるまちづくりの一助となるように、ボランティア・サポート・プログラムにおける花壇整備などを通じて、地域住民と協働しながら行う地域の美化活動。

ボランティアを通じて学校・行政・地域住民の三位一体となった取組で、生徒の自己有用感を高める、美しいまちづくりに貢献している活動である点などが高く評価された。



国道での荒起こし



定植の共同作業



除草作業

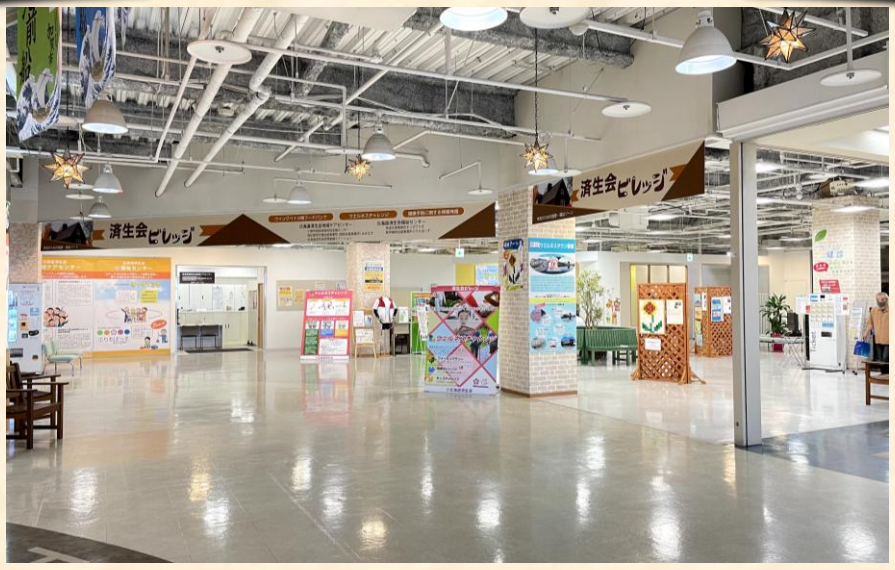
受賞者の声

この度は素晴らしい賞をいただき心から感謝いたします。活動を支えてくださった地域の方々や先輩方のおかげだと感じております。紋別市が潤いと温かさに包まれた街になるように、今後も紋別養護学校や地域の皆様と手を取り合いながら活動を続けてまいります。

所在地：紋別市渚滑町元新１丁目152-1
紋別市大山町３丁目14番地

令和８年度　北海道福祉のまちづくり賞
（活動部門）

社会福祉法人
恩賜財団済生会支部
北海道済生会



【商業施設を拠点とした誰もが健康で暮らし続けられるまちづくり活動】

　ウイングベイ小樽を拠点とし、施設内に健康・福祉ゾーン「済生会ビレッジ」や、障がい者就労やユニバーサルスポーツの普及を推進する「済生会スクエア」を設け、商業施設の中でも介護・健康相談、福祉サービスに触れられるよう、行政との包括連携協定などを通じて多世代･他主体が交わる場を形にした活動。
　地域共生社会の実現と「福祉のまちづくり」に貢献するため、今後の超高齢化社会で必要となる医療・福祉・介護などの包括的な活動を展開している点が高く評価された。


共生スポーツモルック場


小樽くらしたい共生フェス


福祉農園「そらしーど」で
収穫体験

受賞者の声
　このような栄えある賞をいただき、地域の皆さまや関係者の皆さまの支えに、心より感謝申し上げます。今回の受賞を励みに、これからも誰もが安心して暮らせる地域づくりに、真摯に取り組んでまいります。

所在地：小樽市築港１０番１号

令和８年度　北海道福祉のまちづくり賞
（福祉用具部門）

滑りにくい靴型杖先ゴム「つえくつ」



【あらゆる路面での滑りにくさを発揮する３刀流の性能を持つ杖先ゴム】

ブラックアイスバーンなどの凍結路面、雪解け期のウェット路面、洗剤で濡れたタイル床など、杖歩行者にとっての滑りやすい場所での転倒を防ぐ用具。
季節を問わず利用できるほか、一般に従来式の鋭利な先端を有する金具（アイスピック）を取り付けるものと違い、室内を傷つけることもないため屋内外での利用が可能な点や、スタッドレスタイヤと同じ素材で、従来のゴム素材よりも滑りにくい工夫がされており、適切な大きさと使いやすさを備えた点などが高く評価された。



第53回国際
福祉機器展 出展



凍結路面での
実証

受賞者の声

栄誉ある賞に感謝します。重症筋無力症の当事者として「Be ambitious!」を胸に、この滑らない技術を靴底や車いすタイヤへ応用し、全ての人が安心して自由に移動できる社会の実現へ貢献を目指します。

製作者：株式会社つえくつ
所在地：札幌市中央区北４条西７丁目５　緑苑第２ビル511